

在コルカタ日本国総領事館管内安全対策情報
令和3年度第4四半期(令和4年1月～3月)

1 社会・治安情勢

当館が管轄する西ベンガル州、ビハール州、オディシャ州、ジャールカンド州においては、これまで、極左武装勢カマオイストの脅威が存在してきたほか、国政与党BJPと西ベンガル州政与党TMC間での衝突・抗争等により、死傷者を出す事件が発生してきました。

今期は、主に以下のような事案が発生しました(当地紙報道による)。

【1月】

- 12日、オディシャ州 Dhenkanal 地区の Rasol で、閉店間際の銀行へ覆面をした4人組の武装強盗が押し入り、現金と貴金属を強奪した。
- 14日、西ベンガル州 Jalpaiguri 地区で、ラジャスタン州 Bikaner を出発し、ビハール州の Patna を経由してアッサム州の Guwahati に向かっていた列車が脱線し、7名が死亡、50人以上が重傷を負った。邦人の被害報告には接していません。
- 15日、オディシャ州 Malkangiri で、警察の内通者と疑われた男性がマオイストによって連れ去られ、その後、撲殺され遺体に火を付けられて殺害された。
- 16日、西ベンガル州コルカタ市内 Dhakuria で、一軒家のテラスから侵入した賊が、鍵の掛かった棚を壊して現金と貴金属を盗んで逃走した。家族は、1階でテレビを見ていたが犯行に気付かなかったという。
- 19日、西ベンガル州 North 24 Parganas で、州政府与党 TMC のリーダーが、自宅を出て党事務所へ行くため車に乗ろうしていたところ、後ろから来た3人組の男らに銃撃されたが一命を取り留めた。
- 20日、西ベンガル州コルカタ市内 Tollygunge で、対立する2つのグループ約100名による抗争事件が発生し、少なくとも5人が負傷、うち2人は頭に重傷を負って入院した。
- 21日、西ベンガル州コルカタ市内 Beliaghata で、4人組が女性弁護士の住むアパートに押し入り、自宅にいた家族を縛り上げて、現金と貴金属を強奪した。
- 21日、西ベンガル州コルカタ市内 Dum Dum 駅から Sealdah 駅間の走行中のローカル列車内で、女性が見知らぬ男性から体を触れる等の被害に遭った。
- 22日、西ベンガル州 Murshidabad 地区 Berhampore で、畑でクリケットをしていた3人の少年が、落ちていた粗製爆弾をボールと勘違いして投げたところ、爆発し重傷を負った。
- 24日、西ベンガル州 Salt lake で、2人組の空き巣に気付いた住民が警察に通報し、警察官が駆けつけたところ、犯人が警察官らに暴行を加え、逃走した。

【2月】

- 5日、オディシャ州 Kalahandi で、マオイストによって仕掛けられた即席爆発装置(IED)の爆発によってジャーナリストの男性が死亡した。被害者の男性は、同所付近にマオイストによって貼り付けられたと思われる地方選挙のボイコットを呼びかけるポスターの取材に来ていて被害に遭った。
- 8日、西ベンガル州 Howrah で、鉄鋼貿易業を営む男性が会社にいたところ、3人組の男が客を装って侵入し、けん銃と爆弾のような物で被害者の男性を脅し、現金 1000 万ルピーを奪って逃走した。
- 9日、オディシャ州 Kandhamal で、マオイストが仕掛けたとと思われる即席爆発装置(IED)で、男性が死亡した。同現場から 200 メートル離れた場所では、数日前に建設機械が放火されたばかりで、同所付近では選挙のボイコットを呼びかけるマオイストのポスターが発見されていた。
- 11日、西ベンガル州コルカタ市内 PK Tagore Street で、自宅近くの廃虚で遊んでいた 10 歳の少年が、ボールと思って拾った粗製爆弾が爆発し、大けがを負った。
- 14日、オディシャ州 Kandhamal で、警察の情報提供者と疑われた男性が、マオイストによって自宅から連れ出され、殺害された状態で発見された。遺体の近くには、州の政策を批判したり、部族民の権利を支持するポスターが見つかった。
- 14日、西ベンガル州コルカタ市内 Bhowanipore で、宝石商の男性が、自宅から 800 メートル離れた場所にあるゲストハウスの 1 室で殺害された状態で発見された。被害者の家族によると、被害者を拉致したと名乗る犯人から被害者の息子の携帯電話に、身代金の支払いを要求する電話があり、家族は犯人に身代金を支払ったが、被害者が解放されないことから警察に相談し、警察は被害者の携帯電話の場所を特定し、殺害された状態の被害者を発見した。
- 19日、西ベンガル州コルカタ市内各地で、18日に自宅で不審死をした学生リーダーの事件に関して、早期被疑者逮捕を警察に訴えて、学生団体等が抗議活動を行い、一部が警察部隊と衝突した。同抗議活動は、コルカタ市内で散発的に数週間以上続いた。
- 24日、ビハール州 Khagaria で、ゴミ回収業者が回収したゴミを袋に入れてバス停付近に置いていたところ、付近にいた子どもらが、ゴミ袋にボールが入っていると思って粗製爆弾を取り出して遊びだしたところ爆発し、14人がケガを負った。

【3月】

- 3日、西ベンガル州コルカタ市内で、走行中のトラム(路面電車)から火災が発生した。乗客は避難して無事であった。電気システムのトラブルが原因とみられている。
- 3日、ビハール州 Bhagalpur で、3階建ての建物で爆発が発生し、少なくとも 14人が死亡し、9人が負傷した。警察によると、違法な花火製造工場の可能性が高いとのこと。
- 9日、西ベンガル州コルカタ市内で紅茶会社重役の男性(43歳)が、自宅の浴室で頭から

血を流して死亡しているのが発見された。頭には鈍器のようなもので殴られた痕があった。

- 12日、西ベンガル州コルカタ市内 Tangra で、皮なめし工場にて大規模な火災が発生し、約15時間後に火は消し止められた。工場内で使用していた可燃性の物質に何らかの原因で引火し火災が発生したとみられている。
- 18日、西ベンガル州コルカタ市内 Regent Park で、隣人同士でホーリー祭りを祝っていたところ、ささいなことから口論に発展し、護身用に所持していたけん銃を発砲し、男性が死亡した。
- 21日、西ベンガル州 Birbhum で、パンチャーヤト(自治組織)副リーダーでTMCの Bhadu Sheikh が4人組の男らに粗製爆弾を投げつけられて死亡した。
- 22日、西ベンガル州 Birbhum で、前日に発生したパンチャーヤト副リーダー殺害事件の報復と思われる住居10軒に対する放火事件が発生し、9名が死亡した。
- 27日、ビハール州 Bakhtiyapur で、イベントに参加していた Nitish Kumar 州首相が背後から暴漢に殴打された。
- 28日、西ベンガル州コルカタ市内 Burtolla St で、4人組の女性が道に迷った男性に刃物を突きつけて脅し、現金1万5,000ルピーを奪った。さらに男性をネットバンキングで現金を送金するよう脅し、6万5,000ルピーを振り込ませた。
- 30日、西ベンガル州 Nadia で、元 Jadavpur 大学の卒業生でマオイストのリーダー Joyita Das を逮捕した。Joyita は2013年に他の5人の学生とともにマオイストとつながりがあると初めて逮捕されたが、その後、全員が釈放されていた。捜査関係者によると、彼女は今はれっきとしたマオイストの州委員会のメンバーで、組織を州内に広める重要な役割を担っていたとのこと。

2 邦人に係る一般犯罪情勢

令和元年度においては、邦人の旅行者をターゲットにした事件が複数件発生しました。

令和2年度以降は、インド政府及び州政府によるロックダウンのため、在留邦人の外出の機会や邦人の旅行者数が大幅に減少したこともあり、邦人の一般犯罪被害は減少しています。

令和4年1月から3月の期間においても、各州において、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策措置による行動制限を講じたことなどもあり、当館では邦人の一般犯罪被害情報には接していません。

しかし、これは、犯罪が根絶された訳ではなく、幸いに市中で邦人が加害者に遭遇する機会が減少したことによる結果であり、加害者は常に隙があるターゲットを常に探しています。

上記「1 社会・治安情勢」に記載のように、当地報道によれば、コルカタ市内および近郊にて、強盗事件が複数件発生しています。また、オディシャ州でも強盗事件が報告されており、行動制限の緩和に伴い各地で犯罪も増加している模様です。

今後、各州において、一般犯罪が更に増加する可能性もありますので、御注意ください。

一般犯罪ではありませんが、西ベンガル州およびビハール州にて、子どもたちが、落ちていた粗製爆弾をボールと勘違いして扱った結果、爆発して負傷するという事案も複数件報道います。お子様がいらっしゃる方は、お子様が所持者の分からないもの(いわゆる不審物)に触らないようにご注意ください。

また、出張者含む旅行者に対して、声をかけてくる人物には最大限用心し、不審な誘いや要求があった場合、断るか、それには応じず速やかにその場を離れる等といった対応が必要です。

たとえ、声をかけてきた人物と一緒にいる間、親切な振る舞いであったとしても、相手は時間をかけながら巧みにだましてきている可能性があります。相手の突然の要求に不審を抱きながらも、これまでの経緯から信用した結果、被害に遭ってしまった事案がほとんどです。犯罪に巻き込まれないためには、常に細心の注意を払い、相手の言動に不審な点が認められた場合は、問題がないと判断されるまで従わないように心がけてください。

当地では、親しくなったと思った頃に、信用したインド人から高額な保証金の支払いを要求されたり、預けた貴重品を持ち逃げされたりするなど邦人の被害が多く発生しておりますので、引き続き御注意ください。

(1) 殺人

邦人被害の事件には接していません。

(2) 強盗

邦人被害の事件には接していません。

(3) 強姦

邦人被害の事件には接していません。

(4) 詐欺・ぼったくり等

邦人被害の事件には接していません。

3 テロ・爆弾事件発生状況

邦人被害の事件には接していません。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人被害の事案には接していません。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

日系企業がターゲットにされた事案及び関連情報はありません。(了)